

平成22年度第1回八幡地域協議会会議録（概要）

日 時 平成22年4月13日（火）午後1時27分～午後3時55分

場 所 八幡タウンセンター 交流ホール

出席者（14名）

1号委員 佐藤重孝 土井棟治朗 土井長俊 信夫一秋 後藤甚一

後藤正利 池田善幸 遠田蓉子 浅井博之

2号委員 後藤純子 兵藤満喜子 池田桂 高橋知美

3号委員 後藤征四郎

八幡総合支所：支所長 土井一郎、地域振興課長 後藤修、市民福祉課長 齋藤仁志、建設産業課長 阿部幸秀、八幡病院事務長 佐藤弥、
地域振興課 鳴瀬勉・永森忠嗣・土井毅

欠席委員 丸藤百合子委員

傍聴者： 1名

議事日程

1 開 会

2 会長あいさつ

3 会議録署名委員の指名

4 協 議

(1)市長への活動報告について

(2)平成22年度八幡総合支所地域づくり予算、外について

(3)会議の持ち方及び運営等について

(4)今年度の協議課題について

(5)その他

5 その他

6 閉 会

1 開 会

○兵藤満喜子副会長　本日はお忙しい中、お集まりいただき、ありがとうございます。これより、第1回の地域協議会を開会いたします。本日、都合により欠席の委員は、丸藤百合子委員、1名です。会議次第に従いまして、土井会長からの挨拶をお願いします。

2 会長あいさつ

○土井長俊会長　昨年度1年間協議してまいりましたが、その中で一つでも実現できるよう、各委員から建設的な意見を頂戴していきたいと考えています。

3 会議録署名委員の指名

○兵藤副会長　会議に入る前に、会議録署名委員の指名を行います。今回は丸藤委員が欠席のため、“7番の後藤正利委員”をお願いしたいと思います。後藤正利委員、よろしくをお願いします。

○後藤正利委員　わかりました。

○兵藤副会長　それでは早速協議に入ります。会長が議長となり進めていただきます。

4 協議

○土井議長　次第にはありませんが、4月1日付で総合支所の支所長及び課長等の異動がありましたので、簡単に自己紹介をお願いしたいと思います。

○土井支所長　酒田中央高校、選挙管理委員会を経て、この4月に総合支所長として、参りました、土井です。委員の皆さんと一緒に勉強したい、と考えています。

○阿部建設産業課長　建設部門での仕事が多く、その後、教育委員会に勤務しました。農業や商工観光の分野は初めてなので、よろしくお願いします。

○齋藤市民福祉課長　地域振興主幹から異動しました齋藤です。本年度もよろしくお願いします。

○佐藤病院事務長　以前、本協議会の事務を担当させていただきました佐藤です。どうぞよろしくお願いします。

○土井議長　ありがとうございました。それでは協議に移ります。まず初めに、昨年度の本協議会の活動報告について、事務局からお願いします。

○後藤地域振興課長（資料No. 1により説明）活動報告書の次にあります、酒田市長への提言のとおり、本協議会で議論した3項目を土井会長から説明していただきました。市長からは過疎計画の延長と合併特例債が平成27年までのため、地域おこしのためのアイデアを地域協議会から出してもらいたいとの発言がありました。本協議会の報告では、「荒瀬川ふれあい水辺の賑わいの創造について」ですが、市長は、河川管理者が県であるので、市でどうこうできないという回答でした。ただ、統合中学校の部活動の利用に供することから、堤防舗装については、土井会長が強く要望されました。「地域の宝の掘り出しについて」は、是非、旧3町で行ってほしい、との市長答弁がありましたので、本協議会で検討し、次の成果に生かしていきたい。また、全体として、3協議会

の交流会開催、旧3町の特産品発表会の設定、今後策定する過疎計画に対する地域協議会からの意見聴取、等が出されました。なお、意見交換後に、中山間地域に対する負担軽減と側面支援の検討、各種団体の自主運営等に関して、市長から話がありました。

- 土井議長** ただいまの説明について、委員より意見をいただきたいと思います。
- 信夫一秋委員** 市長からは県管理のため市でどうこうできない、との発言があったのですが、地元議員への要望など、次のステップに進む必要がある。1～2年で解決できる課題ではないので、鳥瞰図を作成し、タウンセンターに展示したり、広報に掲載するなど市民にPRし、具体的なイメージを持ってもらいたい。
- 後藤地域振興課長** 実際、市土木課を通じ庄内総合支庁には要望しており、もちろん地元議員への要望ということにもなっていくと思います。なお、鳥瞰図については、本協議会として検討していきたい。
- 浅井博之委員** 市として、旧3町をどのように考えているのか。市として進む方向があると思うが、例えば、協議会で提言した事業にしても、それが経済・産業等、様々な方面に結び付くはずですので、その辺りを伺いたい。
- 後藤地域振興課長** 市には大本の総合計画、その下に建設計画があり、その流れで、各事業が展開されています。地域協議会は、地域の声を生かすための組織であり、委員から意見交換をしていただき、市長への提言という形にまとめています。これについては、実施可能か否かの検討も含め、市長から、関係各部課に指示が行われる、ということです。
- 佐藤重孝委員** 全体の意見交換で、年1回くらい3地域協議会の交流会開催、それから、予算がなければ補正で対応、云々とあるが、これは具体的なことなのか。
- 後藤地域振興課長** 交流会は平田協議会から出されたもので、他の協議会の動きが見えないためようです。また、補正予算に関しては市長から話がありました。
- 土井議長** よろしいですか。次に移ります。(2)平成22年度八幡総合支所地域づくり予算、外について、事務局からお願いします。
- 事務局** (資料No. 2・3により説明) 本年度の地域づくり予算総額は7,992千円で、大きく7事業となっています。まず、本協議会の運営事業、次に庄内やわた会の運営等に従事するふるさと会交流促進事業、沖縄県東村との青少年国内外交流事業、花いっぱい推進事業、高校通学する生徒の保護者負担を軽減する通学バス保護者会支援事業、八幡体育祭等を開催する生涯スポーツ振興事業となっています。最後に、クラシックコンサート・文化講演会等の開催を内容とする地域振興事業です。その他、当支所管内では、記載の各事業を予定しております。それから、平成22年度本市の一般会計当初予算を資料として添付しておりますので、詳細は後ほどご覧下さい。
- 土井議長** ただいまの説明に関し、委員より、意見ををお願いします。
- 信夫一秋委員** 八幡タウンセンター周辺整備事業の概略と工程を教えてください。
- 後藤地域振興課長** これは中央公民館及び産業会館等を解体する工事です。既に業者が決定し、8月にかけて取り壊し、その後、駐車場整備をする予定です。景色が一変するため、事前に、周辺住民の方に対しては説明会を開催予定です。

- 後藤正利委員** 八幡スキー場振興会補助金がありますが、これは昨年度と同額ですか。
- 事務局** そのとおりです。
- 浅井博之委員** まず、ふるさと会交流促進事業において、庄内やわた会では毎回決まったメンバーが参加しているのか、新規会員が増えているのかの現状。次に、沖縄県東村との交流事業ですが、児童がいない家庭ではどういう交流をしているのか分からないのが実態のため、これからの本交流に対する考え方について伺いたい。
- 事務局** 総会等の案内の際に、既存会員には、新規会員の拡大への協力依頼をしていますが、個人情報保護ということで様々な名簿の収集が困難になっており、現状は、同じ顔ぶれの参加と言う現状は否めません。会員からは総会等を通じ、情報交換や親睦を深めてもらうこと、本市のPRや企業進出の情報提供をお願いしており、今後も交流を行っていきたいと考えています。なお、本予算額は支所職員が運営に従事する予算で、このほかに市からは庄内やわた会に対し、補助金が支給され、これに会員からの会費を合わせ、運営しているということです。
- 後藤地域振興課長** 昨年度で東村との交流は16回目を数え、一條小学校で受け入れをし、そば打ち等の交流を行いました。その後、八幡スキー場に会場を移し、初めてのスキーで大いに楽しんでもらいました。確かに、学校関係者等以外の一般市民にとっては、交流の姿は見えにくいかもしれませんので、少し知恵を絞り、啓蒙の方法を考えたい。なお、学校の先生も言われるように、このように中味の濃い交流は本市の中でも八幡地区だけですので、末永く交流が継続できるようにしていきたい。
- 浅井博之委員** 沖縄の交流については私もそば打ちに協力した記憶があり、何とか地域の観光のPR等もできないか、と考えております。また、ふるさと会の件は、首都圏にいる八幡出身の方などから、八幡は良い所なので住みたいのだが、土地がないのがネックとなっているとのことで、市ではこういう声を踏まえて施策を考えているのか疑問でした。
- 後藤地域振興課長** 私も昨年6月に庄内やわた会の総会に出席しましたが、大変有意義な意見交換ができたと思っており、この交流は大事にしていきたいと考えております。なお委員からあった、こちらに住みたい、云々と言う件については、具体的な話であれば、こちらでも本所の担当課につないでいきたいと考えます。
- 池田善幸委員** 地方全体として、人は出て行くものが入ってこない状況ですが、その中で、元気な地域は、そこに住む人が元気を出し、外の人に胸を開いていると思います。そのためには、行政から協力をいただくものの、住民が自ら行動しなければならない。以前、東北芸工大の教授のゼミナールで女子大生が升田に来たときには、住んでいる自分たちも生き生きとしてきた。そういう生き生きとするような事業の火付け役として、また要望を一つでも実現できるような地域協議会にしていきたいと考えます。
- 浅井博之委員** 市で屋台村をやるという計画があるそうですが、その場所と、概要が分かれば教えていただきたい。
- 事務局** 屋台村の計画はありましたが、概要等は不明ですので、調査し、後日委員にお知らせします。

- 土井議長** 皆さんよろしいですか。それでは、(3)会議の持ち方及び運営等について、に移ります。事務局から説明願います。
- 事務局** (資料No. 5により説明) 協議会年間予定(案)をご覧ください。例年通り、年間4回を想定し、第1回目は本日、第2回目は7月上旬、第3回目については、地域づくり予算要求に対する委員の意見を伺う機会を作るという意味で、若干早めて10月上旬、そして第4回目は市長への活動報告に向けての意見取りまとめ、ということで、2月上旬を考えています。なお、地域の宝の視察に関しては、4回の協議会の間に行うという方法もありますので、ご協議願いたいと思います。
- 土井議長** 事務局から説明ありましたが、委員の意見をお願いします。
- 浅井博之委員** 会議が堅苦しい感じがするので、ざっくばらんで、もう少し小さい会議室で開催してはどうでしょう。
- 事務局** 本タウンセンターには様々な広さの会議室がありますので、そこでの開催により、堅苦しい印象がなくなる可能性はあります。また、本センターだけでなく、地域を知る上でも、会場を以前のように移動して開催する、というのも一つの手段だろうと考えます。
- 後藤正利委員** コミ振が発足して1年経ちますが、事務局からあったように、コミセンを回って開催するのが良いと思います。それぞれの地域の特性と、そこに住んでいる人の気持ちが少しでも理解できると思うので、私は賛成です。
- 後藤甚一委員** 八幡は防災無線で呼びかけても、傍聴人はほとんど集まらない状況ですが、平田・松山の協議会はどうでしょうか。
- 後藤地域振興課長** 実は、市長への活動報告時に、本会の副会長から傍聴人の話が出され、平田はいないようですが、松山は若干の方が傍聴しているとのこと。会議録は市のホームページでも見られますし、協議会だよりも発行していますので、その辺りの関係もあるのかな、とは考えています。
- 後藤純子委員** 傍聴人を増やすために、以前も会場の移動や日曜開催を行ってはどうか、との提案がなされ、実際、会場を移動したわけですが、当時の公民館関係者は出席しましたが、そのほかはさっぱりでした。協議会発足当初は老人会など地域の団体の方が、来ていたと思います。会場の移動と傍聴者が増えるかどうかは別問題なので、何らかの方策を考える必要があるのではないのでしょうか。
- 土井議長** 会場の件について皆さんいかがでしょうか。
- 後藤甚一委員** 防災無線でも呼びかけているので、傍聴人が少ないということは、関心がないということではないか。また、協議会で議論をしても実現する当てがない、と言われていきます。市ではいつまでこの協議会を続ける予定なのか。
- 後藤地域振興課長** 市長からはいつまでという話は一切出ていません。先ほども言いましたように、本年度は過疎計画を策定するため、地域協議会からは様々な意見をいただく予定になっており、活動を活発にする必要があると思います。なお、協議会で議論して提言された内容については、市長より関係部署に指示が行われております。
- 後藤純子委員** 各地域で開催した場合は、防災無線だけでなく、各団体にも呼びかけな

いと傍聴は増えないと思います。

- 後藤正利委員 各コミセンで発行しているコミセンの会報に載せる方法があると思います。
- 浅井博之委員 4つのコミセンができ、4地区を束ねてどういう方向に持っていくのかについて提言していくことが重要だと思うので、各地区持ち回りで開催することではないか。
- 土井議長 それでは各地区を回って開催することによろしいですか。順序はどうでしょうか。
- 後藤甚一委員 日向、大沢、一條の順で回るのはいかがでしょうか。
- 土井議長 ただ今、後藤委員から提案のあった、日向、大沢、一條の順で回りしたいと思います。交通手段はどうなりますか。
- 事務局 委員の自宅から会場までの距離に応じて旅費を支給しますので、各自で来ていただくこととなります。
- 土井議長 次回以降の協議会はそのように取り扱いたいと思います。
- 後藤地域振興課長 先ほど市長への活動報告の中で、3協議会の交流会について話しましたが、これについては4回の協議会のほかに、先方と相談して開催することではないかでしょうか。
- 土井議長 3協議会の交流会については、ただ今ありましたような提案でよろしいですか。

～～～異議なしの声あり～～～

- 後藤純子委員 前に市議会議員との話し合いの場を持ってはどうか、という話題がありました。いつの間にか立ち消えになりました。もしやるとすれば、早いうちに決めた方がよいのではないか、と思います。
- 佐藤重孝委員 3協議会の交流会や市議会議員との話し合いはいいのですが、一体何を話すのかと、その目標や課題が大切だと思います。
- 後藤純子委員 地域協議会としてこうしたいから、議会で答弁してもらいたいとか、市議会議員と協力や連携をすれば実現に近くなるのではないか。例えば、学童保育はそうだったと思う。
- 浅井博之委員 我々は独自に選ばれているので、こちらはこちらで議論する必要がある。いきなり議員と議論しても意味はないのではないか。
- 事務局 本協議会は委員同士が様々な意見をぶつけ合い、それを提言としてまとめていく場だと思いますので、議員を交えての協議会というのは、趣旨に馴染まないのではないか。どうしてもやるとすれば、協議会委員と議員との懇談会、という形になるものと考えます。
- 土井議長 事務局で答弁したとおりだと思います。それでは、(4)今年度の協議課題、に移ります。
- 事務局 (3)の会議の持ち方及び運営等と関連しますが、今年度の協議課題について、皆

さんで意見交換をお願いしたいと思います。なお、市長への活動報告にもありましたが、昨年度の2課題についても、今年度も継続協議予定でありますし、資料の最後に添付しております、後藤征四郎委員からのペーパーも含めて検討していただきたいと考えます。

○土井議長　それでは後藤委員から、提出していただきました資料の説明をお願いします。

○後藤征四郎委員（資料により説明）旧八幡町の観光資源の発掘調査、ということでまとめました。特に、4番の全国百選について、様々調べたのですが、八幡では、鳥海山が日本百名山・日本地質百選等になっておりました。では、今後どうしたら良いのか、ということですが、鳥海山、水の郷百選、玉簾の滝のさらなるPR、日向・大沢地区で場所を選定し、市民への森林浴の勧め、それから、棚田、花畑、それから観音寺城跡と夕日の組み合わせを挙げました。委員の皆さんからご意見をいただきたいと思います。次に、うまい米づくりについてですが、当地区の米の食味が良い理由に、水に珪酸が多く含まれている、気象的に恵まれている、人々が米づくりに熱心である、ということが挙げられます。最後に地産地消ですが、米、山菜、野菜、魚等、地域のおふくろの味を出し合いブランド化し、これらの成果を農家レストランとして事業化できないものか、ということです。

○土井議長　ありがとうございます。それでは、昨年度に協議した「地域の宝の掘り出しについて」、「地域づくりをする前にすることについて」と、ただ今後藤委員の提出課題を合わせて、次回以降協議していきたいと思います。

○後藤征四郎委員　先ほど話しました百選については、簡単に調べられますし、私の資料を事務局に預けますので、興味のある方はご覧頂きたいと思います。

○土井議長　では、(5)その他、に移ります。皆さんから何かありますか。

○遠田蓉子委員　昨年来、当地区の火災が多いように思います。支所の自主防災組織がなくなった、と聞いたのですが、その辺りを伺いたい。

○後藤地域振興課長　本年1月から毎月のように火災が発生し、先日、消防団の最高幹部が祈願をした経過があります。なお、自主防災組織については、各区ごとに設置していただくこととしております。

○池田善幸委員　市長への活動報告の中に、過疎計画について市の担当課で地域協議会に説明を行い、意見をいただく予定、とあるが、突発的に説明されても意見が出ないので、資料等は事前に送ってもらいたいことと、我々自身、過疎とはどういうものの理解が必要である。次に、22年度予算の概要に、厳しい財政状況を踏まえた対応という項目があり、そこで人件費については、定員適正化計画に基づく職員数の削減を行った、とあるが、八幡支所の職員は一体、増えたのか減ったのか、お聞きしたい。それから、ごみ収集で、袋に地区名と氏名を記入しているが、旧市では無記名と聞いている。都合のいいことは旧市に合わせ、こういう問題は今までどおりということでは、馬鹿を見るので、是非どちらかに統一してもらいたい。

○後藤地域振興課長　実は15日に、過疎計画策定会議があり、その中で原案の説明があるかと思いますが、皆さんに示すことができるものについては、事前にお送りしたい。支所職員数については、42名体制から本年度は39名ということで、建設産業課

の水道に関して、これまで、酒田上水道に一本化する準備作業を行なってきましたが、今年度から水道部に業務を委託することから、職員2名を減としました。また、商工観光係2名のうち、1名を観光物産協会から職員派遣してもらうことから、1名減となります。それから、ごみ袋の記名ですが、確か議会でも質問が出ていたと思いますので、市の担当課に確認いたします。

○土井議長 池田委員よろしいですか。

○後藤甚一委員 八森自然公園の土砂採取問題について、各地区で説明会が行われたわけですが、どのような内容だったか教えていただきたい。

○阿部建設産業課長 自然保護の立場、地域活性化のための整備推進の立場という2通りの意見だったと聞いています。出た意見を総合的に判断し、再度地域説明会を開催することになるかと思えます。

○高橋知美委員 先日、荒瀬川で河川に生えている柳等の木を伐採したと聞いています。八森の問題でこれだけ騒がれているのに、なぜ簡単に伐採したのか、理由を伺いたい。

○阿部建設産業課長 詳細は存じませんが、河川支障木ということで、河川域の中で、流れを阻害し、河川管理上問題があることから、庄内総合支庁の河川担当課で撤去したものと推測します。

○高橋知美委員 河川に木が生えていれば危ない面はあろうかと思いますが、一方、土砂を止める自然の堤防の役目も果たします。何でもかんでもというわけではありませんが、やはり地域住民の意見を聞き、その上で行動してもらいたい。

○阿部建設産業課長 河川はその幅がスムーズに流れるのが大前提であり、例えば、河川に何かを設置することに関しても、厳しい規制があります。本件について、その事業経過が不明なので、市の担当課を通じて確認したい。

○浅井博之委員 鳥海山の油流出の現状と今後の見通し等について伺いたい。

○阿部建設産業課長 湯ノ台の道路脇から現在も流出しており、市の担当課と今後の対策について検討している状況です。

○土井支所長 鳥海高原牧場に行くT字路から集落に向かって100mほど行った辺りで、2月10日に発見し、すぐに措置しましたが、道路左側の路盤から噴出したため土囊を積んで流れないようにし、スコップですくい、ドラム缶に入れる作業です。3月になると道路の右側からも噴出してきたため、やはり同様の作業を行ない、こちらは福島の産廃に持って行って処理をしたとのこと。4月からは、井戸の封鎖事業の予算を国・県の了解を得て、油流出に充てさせてもらう予定で、当面、仮設道路を設置し、封鎖事業を行うこととなります。

○浅井博之委員 ガスは何ともないのでしょうか。

○土井支所長 ガスが出ているようですが質は悪く、直ちに着火するようなものではありません。

○浅井博之委員 油が流れ出て、水とか下流に影響は出ないでしょうか。

○土井支所長 流れ出れば何らかの影響は出てくるものと思います。ただ、流れ出ないようにサイフォンを設置し、一定程度まで溜まれば、下層の水を出すこととなっております。

流れ出ないような対策を講じているということです。

○**土井棟治朗委員** 4月から中学校が統合となり、旧鳥海中の生徒さんが八幡に来ているわけですが、その子達に八幡地域の宣伝やPRが必要だと思うのですが、どういう考えをお持ちですか。

○**土井支所長** 旧鳥海中の置かれた環境等を調べ、子供が興味を沸くような形での情報提供について、関係課で考えていきたい。

○**佐藤重孝委員** 対等に統合したので、一方的ではなく、私は相互理解が必要と思います。旧鳥海中の生徒は八幡のことを、逆に旧八幡中の生徒は鳥海のことを、というように。

○**土井支所長** 先ほどの発言を修正させていただいて、興味のある人達に情報提供ができないか、検討したい。

5 その他

なし

○**土井議長** 予定の時間を過ぎましたので、以上を持ちまして、地域協議会を終了したいと思います。

6 閉会

○**兵藤副会長** これを持ちまして、第1回目の地域協議会を閉会いたします。委員の皆さんご苦労様でした。